

九州地域の強みを生かした安全保障確立宣言

～経済と食料の安全保障確立を目指す官民連携の更なる推進に向けて～

我々は「九州はひとつ」の理念のもと、様々な社会情勢の変化に対応すべく、GXやDX等の新たな動きも取り入れながら、これまで20年間にわたり、九州地域の社会課題の解決及び魅力向上を図るため、全力で取り組んできた。

著しくデジタル化が進展する今、九州地域の未来の発展に向けては、あらゆる製品に使用され世界標準の基幹部品となっている半導体需要の急速な拡大を取り込み、半導体生産の拠点として、日本経済の一翼を担っていくべきである。

こうした中、TSMCの進出をはじめとした九州地域で相次ぐ大規模投資は、半導体関連産業の更なる集積・設備投資の拡大や雇用の創出等、様々な経済波及効果が期待される。100年に一度のビッグチャンスであり、その効果を最大化するため、「新生シリコンアイランド九州」の実現に向け、オール九州で取り組んでいく必要がある。

また、気候変動等による世界的な食料生産の不安定化や世界的な食料需要の拡大に伴う調達競争の激化等に、ウクライナ情勢の緊迫化等も加わり、食料安全保障の強化が国家の喫緊かつ最重要課題となっている。

このような世界的な食料情勢の変化を踏まえ、日本の食料供給基地「フードアイランド九州」は、多様な担い手の育成・確保とともに、農産物等の輸出を促進することにより、九州地域の農林水産業の更なる成長産業化を推進し、日本の食料安全保障の確立に貢献していくことが期待されている。

我々は、激動する社会情勢の変化に対応し、持続可能な地域社会の先進的モデルを構築するため、日本の経済及び食料安全保障の一翼を九州地域が担うという決意を持って、以下の取組を重点的に進めることを宣言する。

1 経済の安全保障（「新生シリコンアイランド九州」の実現）

- ・ 産学官連携による半導体関連人材の育成・確保等（九州半導体人材育成等コンソーシアムを通じた取組等）
- ・ 企業集積の進展に備えた物流・交通インフラの整備
- ・ 海外における販路開拓、事業連携等の産業交流促進
- ・ 九州で連携して取り組むべき課題の整理等（産官学金連携による協議）

2 食料の安全保障（「フードアイランド九州」の更なる推進）

- ・ 食料安定供給に直結する生産基盤の強化（多様な担い手の育成・確保、農地集積、荒廃農地の活用促進、6次化、スマート化、適正な価格転嫁、園芸農業の推進）
- ・ 新たな市場創出・輸出拡大による稼ぐ力の強化（官民一体の海外プロモーション）
- ・ 食育や地産地消の推進と国産農林水産物の消費拡大（産地応援、地場産品の給食・社食等への活用）

令和5年10月26日
九州地域戦略会議

共同議長 蒲島 郁夫
共同議長 倉富 純男

